平成２０年１月２日
交通局交通企画課

「平成１９年中の交通事故死者数について」

～　昭和２８年以来５４年振りの５千人台となる　～

○　**平成１９年中の交通事故死者数（２４時間以内）**

５，７４４人（前年比－６０８人、－９．６％）

○　**死者の最多・最少日**

・　最多日：１１月３０日（金）　３１人

・　最少日：　４月２４日（火）　６人

○　**一日平均死者数**

１５．７４人　（平成１８年中：１７．４０人）

＜１時間３２分に１人＞（平成１８年中：１時間２３分に１人）

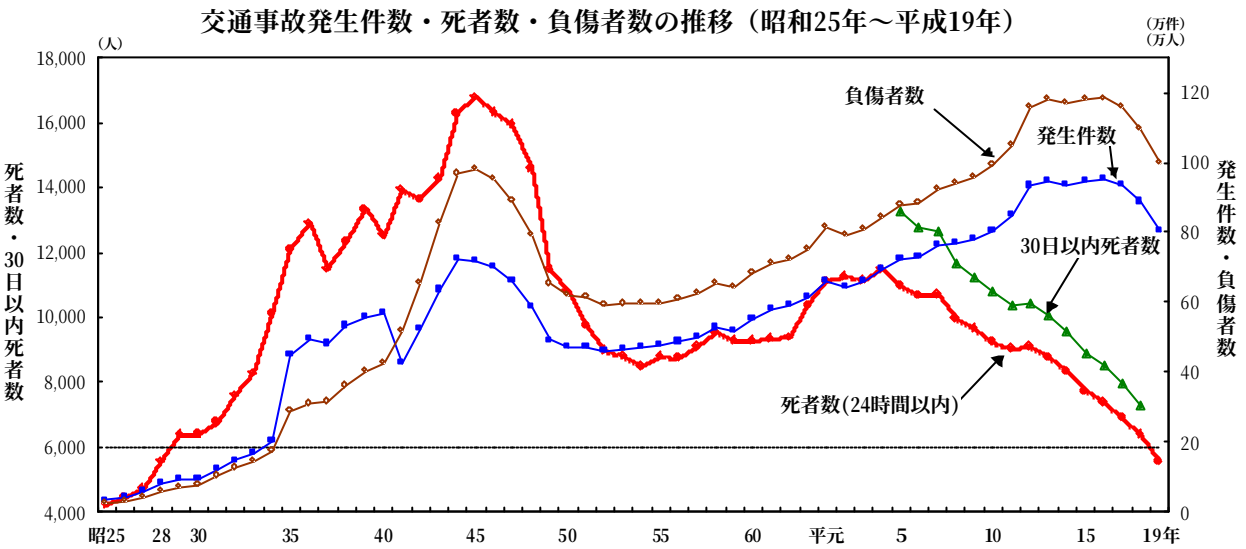
【添付資料】

１　交通事故発生状況の推移　……　1
２　月別交通事故死者数の推移　……　2
３　都道府県別交通事故死者数　……　3
４　主な重大特異死亡事故　……　4
５　国家公安委員会委員長・警察庁長官のコメント　……　5

1　交通事故発生状況の推移

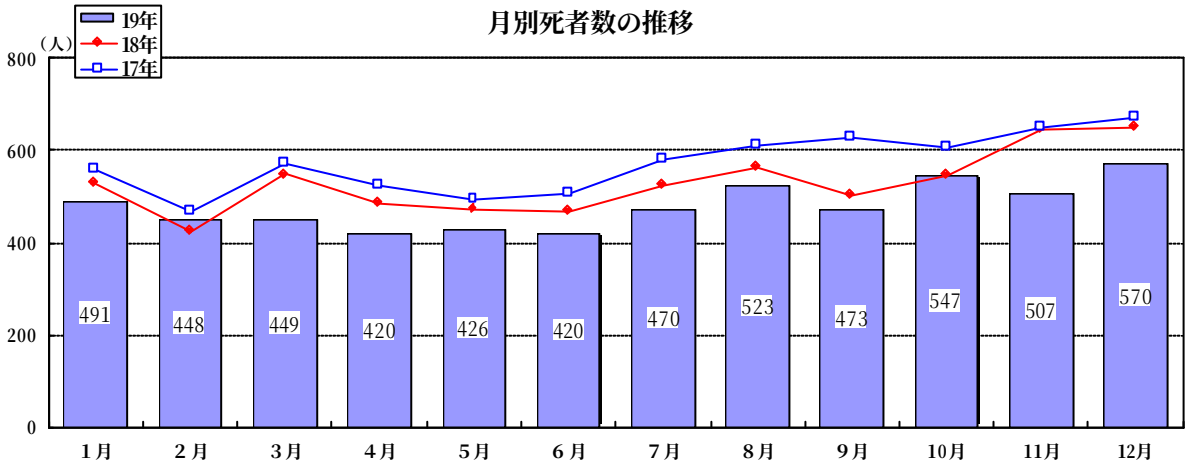
年	発生件数（件）	指数	負傷者数（人）	指数	死者数（人）	指数	
昭和 21 年	12,504	…	12,655	…	4,409	26	
22	17,778	…	16,852	…	4,565	27	
23	21,341	…	17,609	…	3,848	23	
24	25,113	…	20,242	…	3,790	23	
25	33,212	…	25,450	…	4,202	25	
26	41,423	…	31,274	…	4,429	26	
27	58,487	…	43,321	…	4,696	28	
28	80,019	…	59,280	…	5,544	33	死者数が５千人台となった最後の年
29	93,869	…	72,390	…	6,374	38	
30	93,981	…	76,501	…	6,379	38	
31	122,691	…	102,072	…	6,751	40	
32	146,833	…	124,530	…	7,575	45	
33	168,799	…	145,432	…	8,248	49	
34	201,292	…	175,951	…	10,079	60	
35	449,917	…	289,156	29	12,055	72	
36	493,693	…	308,697	31	12,865	77	
37	479,825	…	313,813	32	11,445	68	
38	531,966	…	359,089	37	12,301	73	
39	557,183	…	401,117	41	13,318	79	
40	567,286	…	425,666	43	12,484	74	
41	425,944	59	517,775	53	13,904	83	
42	521,481	73	655,377	67	13,618	81	
43	635,056	88	828,071	84	14,256	85	
44	720,880	100	967,000	99	16,257	97	
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100	死者数が過去最悪の年
46	700,290	98	949,689	97	16,278	97	
47	659,283	92	889,198	91	15,918	95	
48	586,713	82	789,948	81	14,574	87	
49	490,452	68	651,420	66	11,432	68	
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64	
51	471,041	66	613,957	63	9,734	58	昭和45年以降、初めて１万人を下回る
52	460,649	64	593,211	60	8,945	53	
53	464,037	65	594,116	61	8,783	52	
54	471,573	66	596,282	61	8,466	50	
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52	
56	485,578	68	607,346	62	8,719	52	
57	502,261	70	626,192	64	9,073	54	
58	526,362	73	654,822	67	9,520	57	
59	518,642	72	644,321	66	9,262	55	
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55	
61	579,190	81	712,330	73	9,317	56	
62	590,723	82	722,179	74	9,347	56	
63	614,481	86	752,845	77	10,344	62	昭和50年以来、再び１万人を上回る
平成 元 年	661,363	92	814,832	83	11,086	66	
2	643,097	90	790,295	81	11,227	67	
3	662,388	92	810,245	83	11,105	66	
4	695,345	97	844,003	86	11,451	68	
5	724,675	101	878,633	90	10,942	65	
6	729,457	102	881,723	90	10,649	64	
7	761,789	106	922,677	94	10,679	64	
8	771,084	107	942,203	96	9,942	59	昭和62年以来９年振りに１万人を下回る
9	780,399	109	958,925	98	9,640	58	
10	803,878	112	990,675	101	9,211	55	
11	850,363	118	1,050,397	107	9,006	54	昭和56年以来20年振りの８千人台
12	931,934	130	1,155,697	118	9,066	54	
13	947,169	132	1,180,955	120	8,747	52	ピーク時(昭和45年)の半減を達成
14	936,721	130	1,167,855	119	8,326	50	
15	947,993	132	1,181,431	120	7,702	46	昭和32年以来46年振りの７千人台
16	952,191	133	1,183,120	121	7,358	44	
17	933,828	130	1,156,633	118	6,871	41	昭和31年以来49年振りの６千人台
18	886,864	124	1,098,199	112	6,352	38	
19	833,019	116	1,034,514	105	5,744	34	昭和28年以来54年振りの５千人台

注１　昭和３４年までは、軽微な被害事故（８日未満の負傷、２万円以下の物的損害）は含まない。
　２　昭和４０年までの件数は、物損事故を含む。
　３　昭和４６年までは、沖縄県を含まない。
　４　指数は、昭和４５年を１００とした値である。
　５　平成１９年の発生件数及び負傷者数は、概数である。



2　月別交通事故死者数の推移

死者数を月別に前年と比較すると、２月、１０月以外の月で減少している。



○　月別死者数の推移

年＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
昭和 28 年	357	343	439	501	409	359	2,408	472	468	488	582	526	600	3,136	5,544
45	1,237	1,140	1,379	1,271	1,419	1,289	7,735	1,480	1,545	1,467	1,476	1,515	1,547	9,030	16,765
平成 4 年	908	814	924	909	924	878	5,357	911	999	965	1,057	1,087	1,075	6,094	11,451
5 年	837	796	876	840	860	902	5,111	932	924	836	1,070	978	1,091	5,831	10,942
6 年	853	722	859	858	814	831	4,937	926	937	873	952	979	1,045	5,712	10,649
7 年	750	766	842	874	869	819	4,920	852	912	917	1,000	1,004	1,074	5,759	10,679
8 年	792	688	785	787	787	760	4,599	829	859	814	942	900	999	5,343	9,942
9 年	813	722	801	740	796	743	4,615	786	804	760	845	851	979	5,025	9,640
10 年	704	621	783	679	764	676	4,227	734	772	749	838	931	960	4,984	9,211
11 年	715	639	699	679	742	717	4,191	758	770	695	805	853	934	4,815	9,006
12 年	728	666	780	694	695	697	4,260	747	806	685	835	866	867	4,806	9,066
13 年	619	637	763	665	662	659	4,005	743	745	726	823	833	872	4,742	8,747
14 年	643	626	729	684	638	617	3,937	650	692	667	759	793	828	4,389	8,326
15 年	591	553	615	571	603	565	3,498	579	707	643	733	743	799	4,204	7,702
16 年	556	509	617	604	582	559	3,427	631	622	580	645	689	764	3,931	7,358
17 年	558	469	572	524	495	506	3,124	581	610	629	605	651	671	3,747	6,871
18 年	529	424	548	484	471	466	2,922	524	563	504	547	644	648	3,430	6,352
19 年	491	448	449	420	426	420	2,654	470	523	473	547	507	570	3,090	5,744
増減数	-38	24	-99	-64	-45	-46	-268	-54	-40	-31	0	-137	-78	-340	-608
増減率	-7.2	5.7	-18.1	-13.2	-9.6	-9.9	-9.2	-10.3	-7.1	-6.2	0.0	-21.3	-12.0	-9.9	-9.6
１日当たり死者数	15.8	16.0	14.5	14.0	13.7	14.0	14.7	15.2	16.9	15.8	17.6	16.9	18.4	16.8	15.7

注１　増減数（率）は、前年と比較した値である。
　２　昭和２８年は死者数が５千人台となった最後の年、４５年は死者数が最も多い年である。

3　都道府県別交通事故死者数

(1) 多い都道府県

順位	都道府県	死者数
1	愛　知	２８８人
2	北海道	２８６人
3	東　京	２６９人
4	千　葉	２５４人
5	大　阪	２４８人

(2) 少ない都道府県

順位	都道府県	死者数
1	鳥　取	３４人
2	島　根	４２人
3	沖　縄	４３人
4	佐　賀	５０人
5	山　梨	５２人

(3) 増加した都道府県

順位	都道府県	死者数
1	青　森	＋２４人
2	岩　手	＋２２人
3	山　形	＋１９人
4	北海道	＋　９人
4	岐　阜	＋　９人

全８都道県

(4) 減少した都道府県

順位	都道府県	死者数
1	茨　城	－６１人
2	静　岡	－５４人
3	愛　知	－５０人
4	群　馬	－４９人
4	三　重	－４９人

全３９府県

都道府県名		１月１日～12月31日						
		平19年	順位	平18年	増減数	順位	増減率	順位
北海道	札　幌	142	…	141	1	…	0.7%	…
	函　館	29	…	29	0	…	0.0%	…
	旭　川	42	…	35	7	…	20.0%	…
	釧　路	56	…	42	14	…	33.3%	…
	北　見	17	…	30	-13	…	-43.3%	…
	計	286	2	277	9	4	3.2%	7
東北	青　森	92	28	68	24	1	35.3%	1
	岩　手	98	25	76	22	2	28.9%	3
	宮　城	108	21	116	-8	24	-6.9%	20
	秋　田	71	33	74	-3	11	-4.1%	15
	山　形	76	32	57	19	3	33.3%	2
	福　島	121	16	136	-15	31	-11.0%	27
	計	566	…	527	39	…	7.4%	…
東　京		269	3	263	6	8	2.3%	8
関東	茨　城	178	11	239	-61	47	-25.5%	43
	栃　木	149	14	177	-28	37	-15.8%	34
	群　馬	100	23	149	-49	43	-32.9%	47
	埼　玉	228	8	265	-37	41	-14.0%	31
	千　葉	254	4	266	-12	28	-4.5%	16
	神奈川	237	6	240	-3	11	-1.3%	10
	新　潟	158	13	161	-3	11	-1.9%	11
	山　梨	52	43	61	-9	25	-14.8%	32
	長　野	121	16	128	-7	22	-5.5%	18
	静　岡	188	10	242	-54	46	-22.3%	41
	計	1,665	…	1,928	-263	…	-13.6%	…
中部	富　山	63	35	73	-10	27	-13.7%	30
	石　川	59	38	65	-6	20	-9.2%	25
	福　井	60	36	64	-4	15	-6.3%	19
	岐　阜	164	12	155	9	4	5.8%	6
	愛　知	288	1	338	-50	45	-14.8%	33
	三　重	118	18	167	-49	43	-29.3%	45
	計	752	…	862	-110	…	-12.8%	…
近畿	滋　賀	93	27	102	-9	25	-8.8%	23
	京　都	91	29	121	-30	39	-24.8%	42
	大　阪	248	5	255	-7	22	-2.7%	12
	兵　庫	231	7	256	-25	36	-9.8%	26
	奈　良	60	36	66	-6	20	-9.1%	24
	和歌山	56	42	69	-13	29	-18.8%	38
	計	779	…	869	-90	…	-10.4%	…
中国	鳥　取	34	47	39	-5	18	-12.8%	29
	島　根	42	46	46	-4	15	-8.7%	22
	岡　山	115	19	144	-29	38	-20.1%	40
	広　島	132	15	165	-33	40	-20.0%	39
	山　口	115	19	108	7	7	6.5%	5
	計	438	…	502	-64	…	-12.7%	…
四国	徳　島	58	40	63	-5	18	-7.9%	21
	香　川	78	31	96	-18	33	-18.8%	37
	愛　媛	100	23	101	-1	9	-1.0%	9
	高　知	66	34	58	8	6	13.8%	4
	計	302	…	318	-16	…	-5.0%	…
九州	福　岡	199	9	241	-42	42	-17.4%	36
	佐　賀	50	44	69	-19	34	-27.5%	44
	長　崎	57	41	59	-2	10	-3.4%	13
	熊　本	103	22	107	-4	15	-3.7%	14
	大　分	59	38	62	-3	11	-4.8%	17
	宮　崎	80	30	96	-16	32	-16.7%	35
	鹿児島	96	26	110	-14	30	-12.7%	28
	沖　縄	43	45	62	-19	34	-30.6%	46
	計	687	…	806	-119	…	-14.8%	…
合　計		5,744	…	6,352	-608	…	-9.6%	…

4　主な重大特異死亡事故

NO	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	1月4日 １2時5分ころ	自専道 和歌山）	死亡３ 重傷２	普通乗用２	有田市の湯浅御坊道路において、普通乗用車が中央の簡易分離帯を越えて反対車線に進出し、対向してきた普通乗用車と衝突し、３名が死亡、２名が重傷を負ったもの。
2	1月26日 １3時１0分ころ	国　道 北海道）	死亡３ 軽傷１	普通貨物１ 大型貨物１ 普通乗用１	川上郡の国道において、普通貨物車が中央線を越えて対向車線に進出し、対向してきた大型貨物車と衝突し、自車線に押し戻され、後続の普通乗用車が衝突、普通貨物車に乗車の３名が死亡、大型貨物車の運転手が軽傷を負ったもの。
3	2月11日 9時５３分ころ	市　道 北海道）	死亡３ 重傷１	普通乗用１ 大型貨物１	千歳市の市道において、普通乗用車が中央線を越えて対向車線に進出、対向してきた大型貨物車と衝突し、普通乗用車の同乗者３名が死亡し、同車両の運転手が重傷を負ったもの。
4	3月9日 5時５５分ころ	磐越道 （新潟）	死亡３ 軽傷１	普通乗用１ 大型貨物１	東蒲原郡の磐越道において、普通乗用車が簡易中央分離帯を突破して対向車線に進出し、大型貨物自動車と正面衝突し、普通乗用車に乗車の３名が死亡、大型貨物車の運転者が軽傷を負ったもの。
5	4月12日 1時0分ころ	道　道 北海道）	死亡３ 重傷２	普通乗用２	札幌市内の道道において、右折の普通乗用車と直進の普通乗用車が衝突、右折の普通乗用車に同乗していた３名が死亡、それぞれの車両の運転者２名が重傷を負ったもの。
6	6月4日 １6時4０分ころ	国　道 北海道）	死亡３ 重傷２	普通乗用２	小樽市内の国道において、普通乗用車が中央分離帯開口部から対向車線に飛び出し、対向してきた普通乗用自動車と正面衝突し、対向車線に飛び出した普通乗用自動車の運転手と同乗者が死亡、対向していた普通乗用自動車の運転手が死亡し、同乗者２名が重傷を負ったもの。
7	6月4日 １4時５4分ころ	県　道 （千葉）	死亡４ 重傷２ 軽傷２	普通乗用１ 大型貨物１	君津市内の県道において、普通乗用車が中央線を越えて対向車線にはみ出して走行したため、対向してきた大型貨物自動車と正面衝突し、普通乗用車に同乗していた４名が死亡、その他４名が重軽傷を負ったもの。
8	6月2３日 ２1時３0分ころ	県道 （兵庫）	死亡３	普通乗用車２	尼崎市内の県道において、歩行中の男性をはねて逃走し、約１分後、更に約８００メートル進行した地点で中央線を越えて対向車線に進出し、対向してきたタクシーに衝突、歩行中の男性とタクシー運転者及び乗客を死亡させたもの。
9	7月2日 0時0０分ころ	国　道 北海道）	死亡３	軽四貨物１ 大型貨物１	山越郡内の国道において、軽四貨物車が中央線を越えて対向車線に進出、対向してきた大型貨物車と正面衝突し、軽四貨物車に乗車していた３名全員が死亡したもの。
10	7月4日 6時0０分ころ	県　道 （福岡）	死亡３	普通乗用１	大牟田市内の県道において、タクシーが乗客２名を乗せ走行中に横滑りし、交差点出口左側に設置された信号柱に衝突、同車に乗車していた３名全員が死亡したもの。
11	8月19日 １1時0８分ころ	自専道 （兵庫）	死亡３ 重傷２ 軽傷３	普通乗用１	南あわじ市内の神戸淡路鳴門自動車道下り線において、パンクした普通乗用自動車が中央分離帯に衝突後横転、３名が車外放出され死亡したもの。
12	9月15日 ２3時３0分ころ	国　道 （香川）	死亡４ 重傷２	普通乗用２	観音寺市内の国道において、普通乗用車が中央線を越え、対向車線に進出し滑走、対向してきた普通乗用車と正面衝突、対向車線に進出した車両に乗車していた５名中運転手を含めた４名が死亡し１名が重傷、対向の車両の運転手が重傷を負ったもの。
13	11月2日 １9時５５分ころ	県　道 （千葉）	死亡３ 重傷２ 軽傷２	普通乗用２	成田市内の県道において、５名乗車の普通乗用車が中央線を越え、対向車線に進出、対向してきた普通自動車と衝突、対向車線に進出した車両に同乗中の３名が死亡し、運転手と同乗者の２名が軽傷、対向車の運転手と同乗者の２名が重傷を負ったもの。
14	11月5日 ２2時１5分ころ	市　道 北海道）	死亡３	普通乗用１ 軽四乗用１	小樽市内の市道において、普通乗用車が中央線を越えて対向車線に進出、対向してきた軽四乗用車と正面衝突し、軽四乗用車に乗車していた２名及び普通乗用車運転手が死亡したもの。

※　死者３名以上の重大特異事故。

５　国家公安委員会委員長、警察庁長官のコメント

１　国家公安委員会委員長のコメント

これまで、国民の皆様や関係方面の皆様とともに、交通安全の確保に取り組んできたところであり、その結果、昨年の交通事故による死者数は、５，７４４人で、昭和２８年以来５４年振りに５千人台まで減少するに至りました。

しかしながら、いまだ多くの尊い命が交通事故の犠牲となっており、負傷者数は９年連続して１００万人を超えるなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。

交通事故のない安全で快適な交通社会を実現することは、国民すべての願いであり、政府の重要な課題であります。

国家公安委員会としても、引き続き、平成１５年に立てた「１０年間で交通事故死者数を５千人以下とする」との政府目標を達成するため、強い決意をもって交通事故死者の更なる減少に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、国民の皆様方には、なお一層の交通安全の取組みや安全行動の実践をお願いします。

２　警察庁長官のコメント

昨年は、交通事故による死者数が、７年連続して減少し、昭和２８年以来５４年振りに５千人台の５，７４４人となったほか、交通事故の発生件数と負傷者数も３年連続して減少しました。

これは、全国警察が国民の皆様や関係機関・団体等と協力し、あるいは連携しながら、悲惨な交通事故を１件でも多く減少させたいという熱意をもって各種の対策に取り組んできた結果であると認識しております。

しかしながら、依然として飲酒運転による悲惨な交通事故が発生しておりますほか、負傷者数は９年連続して１００万人を超えるなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。

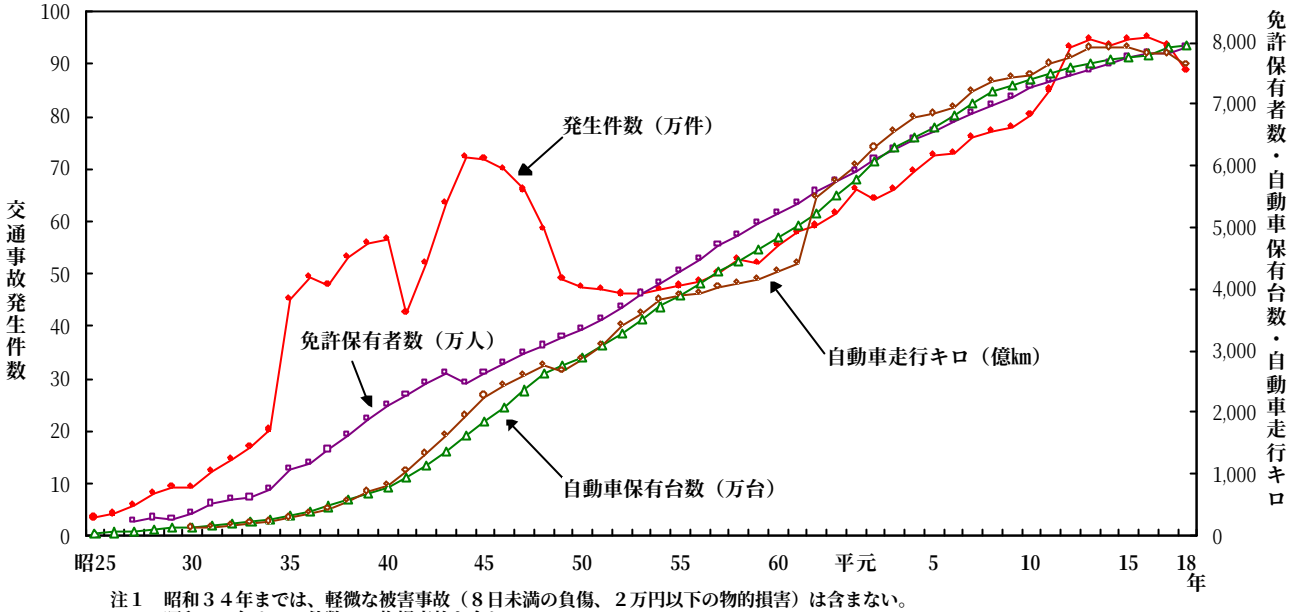
また、本年６月までに、自転車利用者対策、後部座席シートベルトの着用義務等に係る改正道路交通法の規定が施行されるところであり、その円滑な施行に万全を期す必要があります。

交通事故による死者数は減少しましたが、いまだに年間６千人近くの方々が交通事故により亡くなっているという現状を重く受け止め、こうした犠牲者を一人でも減らすため、引き続き、各界各層と連携を図りながら、総合的な交通事故防止対策をなお一層進めてまいりたいと考えています。

〔参考〕

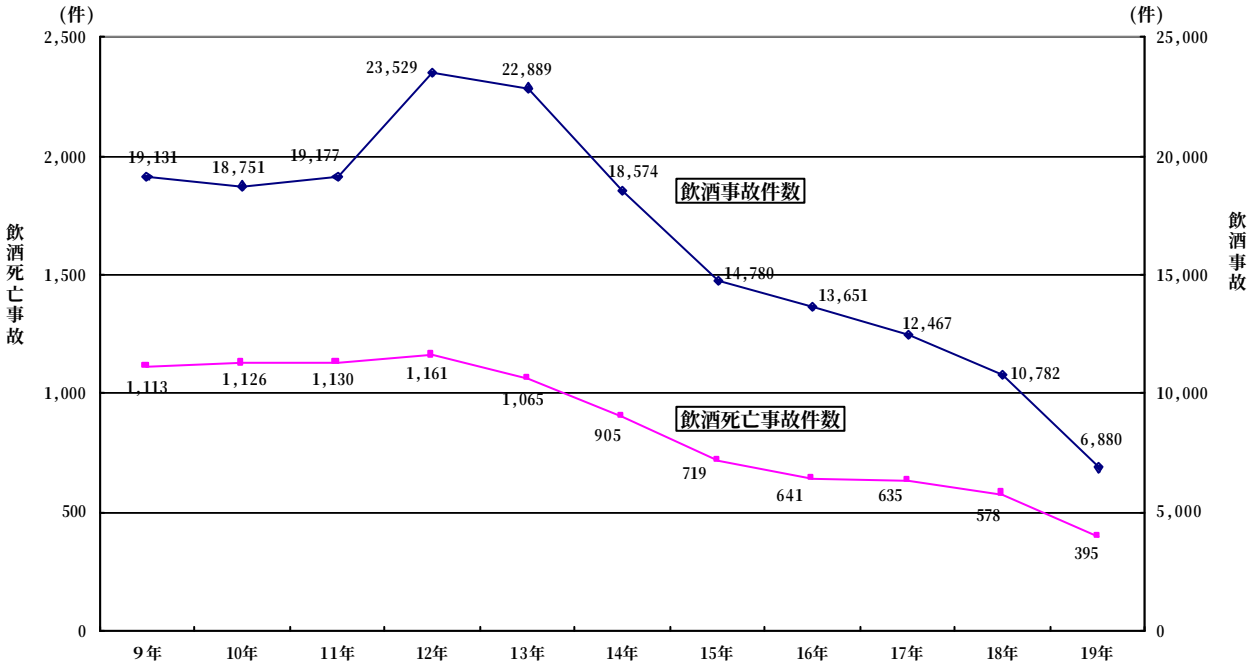
交通関係指標

交通関係指標の推移（昭和25年～平成18年）



注１　昭和３４年までは、軽微な被害事故（８日未満の負傷、２万円以下の物的損害）は含まない。
　２　昭和４０年までの件数は、物損事故を含む。
　３　昭和４６年までは、沖縄県を含まない。
　４　自動車走行キロは、昭和６２年度以降軽自動車を含む。

飲酒事故発生件数の推移（各年11月末）



交通安全基本計画の推移

	計画期間	目　　標	結　　果
第一次	昭和46年度 ～50年度	＜昭和50年の目標＞ 昭和50年における歩行中の交通事故死者数（予測値）の半減 8,000人　→　4,000人以下	昭和45年の歩行中の交通事故死者数 5,939人 昭和50年の歩行中の交通事故死者数 3,732人
第二次	昭和51年度 ～55年度	＜昭和55年の目標＞ 過去最高時（昭和45年）の交通事故死者数の半減 16,765人　→　8,382人以下	昭和55年の交通事故死者数 8,760人
第三次	昭和56年度 ～60年度	＜昭和60年の目標＞ 交通事故死者数　8,000人以下	昭和60年の交通事故死者数 9,261人
第四次	昭和61年度 ～平成２年度	＜平成２年の目標＞ 交通事故死者数　8,000人以下	平成２年の交通事故死者数 11,227人
第五次	平成３年度 ～７年度	＜平成７年の目標＞ 平成７年における交通事故死者数（予測値）の減少 13,500人程度　→　10,000人以下	平成７年の交通事故死者数 10,679人
第六次	平成８年度 ～12年度	＜平成９年の目標＞ 交通事故死者数　10,000人以下 ＜平成12年の目標＞ 交通事故死者数　9,000人以下	平成９年の交通事故死者数 9,640人 平成12年の交通事故死者数 9,066人
第七次	平成13年度 ～17年度	＜平成17年の目標＞ 交通安全対策基本法施行以降、最低時(昭和54年)の交通事故死者数8,466人以下	平成17年の交通事故死者数 6,871人
第八次	平成18年度 ～22年度	＜平成22年の目標＞ 世界一安全な道路交通の実現を目指し、 交通事故死者数　5,500人以下 死傷者数　100万人以下	